



2017年 春号(第25号) **田村しんいちろうNEWS**

●発行所：公明党川崎市議会議員団 ●印刷所：株式会社光明印刷 川崎市幸区塚越4-345
●発行人：田村伸一郎 ●住所：川崎市宮前区宮崎5-14-13-301

川崎市議会 2017年(平成29年)第1回川崎市議会定例会
予算審査特別委員会

●代表質問での担当項目●

緊急輸送路の沿道建築物の耐震化を急げ!!

1 本市では、平成28年度から川崎市耐震改修促進計画に基づいて緊急輸送路の沿道建築物の耐震診断が義務づけられ推進されています。

「田村しんいちろう」議員は、耐震診断結果の報告が義務化された沿道建築物の対象棟数、申請診断棟数等の現状を質問しました。

市からは、「義務化された沿道建築物の対象棟数は現時点で244棟、申請棟数は、これまでに診断済みは80棟、設計はゼロ棟、改修は1棟、さらに来年度に向けて、既に19棟の診断の事前相談を予定している」と答弁しました。



2 「田村しんいちろう」議員は、平成31年3月までに耐震診断を終了させる川崎市耐震改修促進計画に触れ、所有者と連絡がとれない物件や、登記を調査しても不明な案件などへの対応について質問しました。

市からは、連絡がとれない沿道建築物の所有者等への対応について、「昨年度末に再度御案内を送付し、新年度の早い時期に専門の建築士を派遣して個別訪問を行うなど、粘り強く対応していく」と約束しました。

3 「田村しんいちろう」議員は、特定建築物等への工事費助成は単年度工事のみを助成の対象としているが、2力年にまたがる工事など、柔軟に対応できるようにすべきと指摘しました。

また、耐震改修工事を2回に分けて行うことで、少しでも地震に対して危険な状態を解消できるように段階的改修工事助成制度の採用を求めました。

市からは、特定建築物等への2力年にまたがる工事への対応について、「耐震改修工事期間が複数年度にまたがる場合においても助成金交付手続が行えるよう検討を進め、平成29年度の導入を目指し引き続き関係部署と協議しながら、より使いやすい制度となるよう検討していく」と前向きな答弁をしました。

白幡台地区等へのコミュニティ交通の導入を図れ!!

「田村しんいちろう」議員は、これまで度々取り上げているコミュニティ交通の導入に向けた支援について質問しました。

高齢者等の日常生活の移動確保のため、路線バスでは対応できない買い物、通院需要等に対応する交通手段などの構築は喫緊の課題であると指摘しました。

新年度には白幡台・岡上西地区などにコミュニティ交通の導入に向けた支援が図られることになり、その具体的な取り組みについて見解を求めました。



市からは、「白幡台地区につきましては、地元協議会において運行方針案を策定しているところで、新年度には、この方針案に基づき、走行環境の調査や運行計画を作成する予定となっております、引き続き支援していく」と約束しました。

「田村しんいちろう」議員は、平成29年度予算審査特別委員会の副委員長を拝し、公正で公平な委員会運営に努めました。

**皆様の声を
カタチに**

「田村しんいちろう」議員は、地域の皆様から、「子どもたちが楽しめる遊具の設置」を求める声を受け、道路公園センターと連携を図り、すべり台と鉄棒を設置しました。

子供たちからの喜びの声が届いています!

平1丁目 平風久保公園



田村しんいちろうのホームページがリニューアル!

(市民相談などお気軽に) www.tamura-shin.com/
声をかけてください。 ●ぜひ、一度アクセスしてください。

議会 電話:044-200-3361 FAX:044-245-4137 E-mail: tamura@komei-kawasaki.com

